

予算特別委員会記録

1. 日時 平成30年3月7日(水)
午後 2時15分 開議
午後 2時48分 閉会
2. 場所 白鷹町役場 議場
3. 議題 (1) 議第32号の質疑、採決
(2) 議第33号の質疑、採決
(3) 議第34号の質疑、採決
(4) 議第35号の質疑、採決
(5) 議第36号の質疑、採決
(6) 議第37号の質疑、採決
(7) 議第38号の質疑、採決
-

○出席委員(13名)

2番	渡部善美委員	3番	笹原俊一委員
4番	佐々木誠司委員	5番	小口尚司委員
6番	小形輝雄委員	7番	田中孝委員
8番	山田仁委員	9番	奥山勝吉委員
10番	石川重二委員	11番	佐藤京一委員
12番	菅原隆男委員	13番	関千鶴子委員
14番	今野正明委員		

○欠席委員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	佐藤誠七
副町長	横澤浩
教育長	沼澤政幸
総務課長	松野芳郎
税務出納課長	高橋浩之
企画政策課長	湯澤政利
企画主幹	永野徹
町民課長	中村裕之

健康福祉課長	長	岡		聡
商工観光課長	齋	藤	重	雄
農林課長併 農業委員会事務局長	菅	間	直	浩
建設水道課長	菅	原	良	教
病院事務局長	渡	部	町	子
教育次長	田	宮		修
総務係長	黒	澤	和	幸
財政係長	小	林		裕
監査委員	竹	田	謙	一

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	樋	口		浩
係長	橋	本	達	也
書記	佐	藤	圭	子

○開議の宣告

○委員長（菅原隆男） ご参集まことにご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

3月6日開催の第2回白鷹町議会定例会本会議において本委員会に付託された平成29年度白鷹町一般会計補正予算（第10号）外6件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、お手元に配付の補正予算審査文書表のとおり、最初に一般会計について補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行い、続いて同様に各特別会計、事業会計の審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決いたします。

○議第32号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） それでは、議第32号 平成29年度白鷹町一般会計補正予算（第10号）についてを議題といたします。

質問される方、答弁なさる方はそれぞれ簡潔明瞭にされるよう申し添えます。

また、質問される方は、ページを示していただきます。

初めに、補正予算の概要について説明を求めます。松野総務課長。

○総務課長（松野芳郎） ご説明いたします。

概要の2ページをお開きいただきたいと思います。

一般会計補正予算における歳入歳出の主な事項につきましてご説明申し上げます。

初めに、概要でございますが、国の補正予算事業の採択となりました担い手確保経営強化支援事業や川戸・金剛地区ため池等整備事業等について計上するほか、町立病院の経営基盤強化経費の追加等を行うものでございます。また、下水道事業の県補償費の立てかえに対応するため財政調整基金の取り崩しによる繰出金の追加対応を行うものでございます。

次に、歳入についてご説明を申し上げます。

款、補正額及び概要について申し上げます。

2款地方譲与税、410万円の減額。地方揮発油譲与税収入見込み額に基づく調整でございます。

4款配当割交付金、40万円の減額。収入見込み額に基づく調整でございます。

11款分担金及び負担金、123万8,000円の減額。ほ場整備受益者分担金について調整をいたすものでございます。

13款国庫支出金、2,757万3,000円の減額。児童手当負担金864万1,000円の減額、国民

健康保険保険基盤安定負担金27万3,000円の減額、介護保険低所得者保険料軽減負担金3万2,000円の減額、社会資本整備総合交付金1,828万7,000円の減額などがございます。

14款県支出金、5,797万6,000円。初めに国の平成29年度補正予算対応分でございます。地籍調査事業2,344万8,000円、担い手確保・経営強化支援事業3,617万円。

既決事業の調整等ございまして、児童手当負担金159万6,000円の減額。国民健康保険保険基盤安定制度負担金153万4,000円の減額。介護保険低所得者保険料軽減負担金1万6,000円の減額。防犯ボランティア活動支援事業費補助金5万6,000円、認定こども園施設整備交付金84万5,000円、機構集積支援事業235万7,000円。雪対策総合交付金141万円、新聞を活用した教育活動への支援事業補助金23万6,000円などがございます。

15款財産収入、12万7,000円の減額。各種基金の運用利子の調整でございます。

17款繰入金、3,999万8,000円。財政調整基金からの繰り入れ4,200万円。下水道事業の県補償費の立てかえ対応でございます。白鷹人育成基金からの繰り入れの調整70万円の減額。森林再生基金からの繰り入れの調整145万円の減額、基金運用利子の繰り入れの調整14万8,000円。

18款繰越金、256万6,000円。一般財源として充当をいたすものでございます。

19款諸収入、64万6,000円。各種過年度分返納金でございます。

20款町債、9,070万円の減額。国の平成29年度補正予算対応分につきましては、公共事業等債1,440万円。既決事業の調整等につきましては、事業の実績等に基づく調整でございます。1億510万円の減額。

歳入合計2,295万2,000円の減額。

次ページをお願い申し上げます。

続いて、歳出について申し上げます。

2款総務費、32万1,000円の減額。置賜広域行政事務組合負担金3万1,000円、事業実績見込み等に基づく調整でございます。

3款民生費、2,457万8,000円の減額。国民健康保険特別会計繰出金249万7,000円の減額。内容でございますが、保険基盤安定制度及び財政安定化支援事業の額の確定と出産育児一時金の実績見込みに基づく調整でございます。介護保険特別会計繰出金、931万3,000円の減額。保険給付事業の見込み等に基づく調整でございます。こども園支援事業費補助金126万7,000円。愛真こども園整備支援につきまして県からの補助の追加交付に伴う対応でございます。児童手当支給事業1,183万円の減額、支給実績等に基づく調整でございます。

4款衛生費、394万円。予防接種事業600万円の減額。事業実績見込み等に基づく調整でございます。清掃事業分担金660万3,000円の減額。事業実績見込み等に基づく一部事務組合負担金の調整でございます。病院費経営基盤強化費2,000万円。病院事業会計の経営状況等を勘案した繰り出しの対応でございます。

5款労働費、1,000円。勤労者福祉厚生振興基金利子の積み立てでございます。

6款農林水産業費、6,383万7,000円。担い手確保・経営強化支援事業、国の補正対応分でございます。3,617万円。意欲ある農業者に対しましてトラクターや乾燥調整施設等の経営発展に必要な農業用機械等の導入を支援するための対応でございます。川戸・金剛地区ため池等整備事業、国の補正分でございます。154万円。事業費の見込み及び国の補正予算に対応するための県事業負担金の調整でございます。萩野地区農地環境整備事業、国の補正対応分でございます。288万7,000円の減額。事業費の見込み及び国の補正予算に対応するための県事業負担金の調整でございます。機構集積協力金交付事業235万8,000円、県の交付単価の増額に伴う対応でございます。地籍調査事業費、国の補正分でございます。3,400万8,000円、国の補正予算の配分を受けまして、平成30年度実施予定分を前倒しで実施するための対応でございます。

7款商工費、2,034万円の減額。企業立地促進事業2,000万円の減額。事業費の確定に基づく調整でございます。

次のページをお願い申し上げます。

8款土木費、882万6,000円。町道安全対策事業3,295万円の減額でございます。国庫補助が不採択になったことを受けての減額対応でございます。下水道特別会計繰出金4,200万円、鮎貝中継ポンプ場移設工事に係る県からの補償費が平成30年度に歳入になることから、一時的に一般会計からの繰り出しで立てかえを図るための対応でございます。

9款消防費、336万8,000円の減額。西置賜行政組合負担金81万2,000円。事業実績見込み等に基づく一部事務組合負担金の調整でございます。

10款教育費、962万9,000円の減額。小学校管理費修繕料29万円、蚕桑小学校の施設修繕への対応でございます。社会教育施設管理費修繕料65万円。山峡体育館のどんちょう開閉装置修繕の対応等でございます。

11款災害復旧費、3,991万4,000円の減額。急傾斜地崩壊対策事業でございます。事業実績見込み等に基づく県事業負担金の調整でございます。

12款公債費、140万6,000円の減額。元金につきまして4万9,000円。利子につきまして145万5,000円の減額をいたすものでございます。いずれも償還額の調整を行うものでございます。

歳出合計2,295万2,000円の減額。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

4番、佐々木委員。

○4番（佐々木誠司） 概要書の5ページで予算書でいいかと13ページの企業立地促進

事業の補助金の件でお伺いたします。2,000万円の減額ということですが、これは当初予算2,000万円ほどあったもののほとんど執行されないで減額ということであるようですが、このあたりの理由についてご説明をお願いします。

○委員長（菅原隆雄） 齋藤商工観光課長。

○商工観光課長（齋藤重雄） お答えをさせていただきます。

企業立地促進事業費につきましては、当初予算から2,000万円を計上しているものがございますが、当初想定しておりました企業様の状況におきまして変化がございまして今回減額させていただくものがございます。

○委員長（菅原隆雄） 4番、佐々木委員。

○4番（佐々木誠司） これは、平成30年度、新年度の予算の中にも計上されておったようではありますが、この事業は本当に商工業の活性化、雇用の確保という面でも非常に大事な事業かと思っております。しかしながら、相手がいることであるかと思えます。先ほどの町長のご答弁の中にも一部あったかと思えますが、企業も人材不足の解消のためにさまざまな設備投資等に意欲を持っておられるということをお聞きしたわけでありませんが、各企業とお話をさせていただいた上で今後こういった事業を進めて継続していく上で、企業の反応と申しますか、意欲と申しますか、その辺企業の将来に向けての感触と申しますか、その辺どのように捉えていらっしゃるのか、その辺お聞かせください。

○委員長（菅原隆雄） 齋藤商工観光課長。

○商工観光課長（齋藤重雄） お答えをさせていただきます。

先ほど町長も申し上げましたが、企業の方々、特に進出企業の方々と懇談会を開催しました中では、やはり課題としては先ほど申し上げましたように人手不足ということがございますが、一部の企業からは設備投資をやっていききたいのだという力強いお言葉もいただいておりますし、それによりまして雇用の場も確保できるものと考えてございます。30年度につきましては、相手のことがあるわけがございますが、そういった意味で私どもといたしましては期待しているところでございます。

○委員長（菅原隆雄） ほか、ございませんか。

9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） 概要書6ページの土木費の中の国庫補助が不採択になったことを受けてという文言があるのですが、これどういう意味か説明を求めたいと思います。

○委員長（菅原隆雄） 菅原建設水道課長。

○建設水道課長（菅原良教） お答えを申し上げます。

この町道安全対策事業につきましては、社会資本整備総合交付金を財源といたしまして実施をする予定であったというものでありますけれども、国の交付金の配分の考え方があるようでございまして、橋梁関係の安全対策についてやはり優先をしているということがありそうです。もう一つ、道路改良とか舗装改修といった部分の大きく2

つのところで私ども検討させていただいているわけですが、どうしても橋梁側が優先になる。私どもも橋梁にも取り組んでおりますので、そちらはほぼ満額で対応させていただいているわけですが、やはり改良、舗装関係がなかなかつかないということで道路改良につきましては、谷町八ヶ森線を実施させていただいておまして、これが何とか29年度で終わるという状況になってきているということでもありますけれども、いかんせん舗装改修についてはやはり採択にならないという状況であったということがございます。

ただ、30年度に向けましては一応先ほど申し上げました谷町八ヶ森線が終わるということもございますので、その部分でこれまでやっていた枠の部分で何とか舗装改修に取り組めるのではないかとということで、今後については展望を持っているということでもあります。現状はそのようなことであるということでもありますので、ご理解をいただければと思います。

○委員長（菅原隆雄） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） 概要書4ページのこども園の支援についてなのですが、過去にも何回か支援がその都度ふえてきている。その都度町の負担も出てくるのかなと思ったのですが、今回は地方債で50万円ということで予算組まれていますけれども、ここら辺の具体的な説明を求めます。

○委員長（菅原隆雄） 長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（長岡 聡） お答えをいたします。

委員からお話しいただきましたとおり、こども園支援事業費補助金につきましては6月と9月に補正対応をさせていただいております。当初では840万円ほどの補助ということで見込んでおりましたが、交付率に圧縮がございまして6月にはその840万円に對しまして64%の交付ということでございまして、一度引き下げの補正をさせていただきました。その後、9月の補正におきましてその圧縮率が90%まで復活をしたということがありまして、増額対応させていただいたところでございます。

この冬の時期なのでございますけれども、国県の担当から100%までの復活がなるかどうかという情報などもありまして、本町での予算措置は圧縮率9割で予算としておりましたので、これが幾らか復活した場合についてはそのルールに基づきまして補助をする必要があるだろうということで、今回このような形で100%までの交付ができるように予算を盛らせていただいたところでございます。

○委員長（菅原隆雄） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） といいますと、起債対応せざるを得なかったという理解でいいでしょうか。

○委員長（菅原隆雄） 長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（長岡 聡） お答えいたします。

こちらの補助につきましては、補助基本額に対して県の補助が50%、町の補助が25%ということになっておりまして、その25%分につきましてはこれまでも起債で対応させていただいております。今回もその圧縮率の10%復活分に対しまして4分の1について起債で対応させていただくということで、補正を組ませていただいたところでございます。

○委員長（菅原隆雄） 第2表繰越明許費及び第3表の地方債補正に係るものなど全体的な事項で何かございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑終結と認めます。

○議第33号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に移ります。

議第33号 平成29年度白鷹町下水道特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

補正予算の概要について説明を求めます。菅原建設水道課長。

○建設水道課長（菅原良教） ご説明申し上げます。

概要書の最終ページ、7ページをごらんいただきたいと思います。

下水道特別会計補正額、1,126万2,000円の減額であります。事業の実施に伴います国庫支出金等の変更への対応及び荒砥橋架替関連工事に係る県からの補償費等の調整等を行うものでございます。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑なしと認めます。

○議第34号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に進みます。

議第34号 平成29年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

補正予算の概要について説明を求めます。中村町民課長。

○町民課長（中村裕之） ご説明申し上げます。

概要書の7ページをお開き願います。

国民健康保険特別会計補正額、6,164万4,000円の減額でございます。

概要でございますが、国民健康保険税の収納実績に合わせた調整、給付実績に基づく

保険給付費の調整及び円滑な事業運営に資するための国民健康保険給付基金への積み立て等を行うものでございます。

保険給付費4,046万円の減額。共同事業拠出金4,941万7,000円の減額。基金積立金3,007万1,000円などがございます。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑なしと認めます。

○議第35号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に進みます。

議第35号 平成29年度白鷹町農業集落排水特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

補正予算の概要について説明を求めます。菅原建設水道課長。

○建設水道課長（菅原良教） ご説明申し上げます。

7ページをごらんください。

農業集落排水特別会計補正額、2,908万6,000円の減額。内容につきましては実績見込みに伴います特定地域生活排水処理事業等に係る事業費の調整等を行うものでございます。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑なしと認めます。

○議第36号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に進みます。

議第36号 平成29年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

補正予算の概要について説明を求めます。長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（長岡 聡） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要7ページをお開きください。

介護保険特別会計の概要でございますが、歳入歳出それぞれ7,395万8,000円の減額の補正を行うものでございます。

概要につきましては、介護保険給付見込みに基づきます保険給付費の調整等の対応で
ございます。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑なしと認めます。

○議第37号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に進みます。

議第37号 平成29年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についてを
議題といたします。

補正予算の概要について説明を求めます。中村町民課長。

○町民課長（中村裕之） ご説明申し上げます。

同じく7ページをお開き願います。

後期高齢者医療特別会計補正額、1,344万5,000円。概要でございますが、後期高齢者
医療保険料の収納実績に合わせた後期高齢者医療広域連合納付金の調整を行うもので
ございます。後期高齢者医療広域連合納付金1,344万5,000円。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑なしと認めます。

○議第38号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に進みます。

議第38号 平成29年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第2号）についてを議題と
いたします。

補正予算の概要について説明を求めます。渡部病院事務局長。

○病院事務局長（渡部町子） ご説明申し上げます。

概要書7ページ目の下段をごらんください。

収益的支出910万5,000円の減額でございます。概要といたしましては、収益的収支
における現在までの状況を踏まえての一般会計からの負担金及び医業費用等の調整を
行うものでございます。

収益的収入1,410万5,000円の減額。主な内容といたしましては、入院外来収益の減

額と一般会計からの負担金2,000万円でございます。

収益的支出、910万5,000円の減額。主な内容といたしましては、現在までの状況を踏まえまして給与費、材料費等を調整を行ったものでございます。

資本的支出、1,272万円の減額。資本的収支における国保会計からの繰入金の調整及び医療機械購入費について減額するための対応等でございます。

資本的収入、5,174万円の減額。

資本的支出、1,272万円の減額。建設改良費における医療機械購入費の減額に伴いまして資本的収入を国保直診繰入のみとし、不足分を留保資金で補填するものでございます。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

収益的収支、資本的収支、一括して質疑を行います。

9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） 予算書1ページを見ますと、今の段階での数字かなと思うのですが、収入と支出で医業外収益を見ても2,500万円ぐらい足りないかなという数字なのですが、決算途中なのでそこら辺はどうかと思うのですが、そこら辺対応、これからどう考えていらっしゃるのか一つお伺いします。

もう一つは概要書7ページの医療機械購入費減額という、これ今回購入しないで新年度で考えているのか、そこら辺も伺いたいと思います。

○委員長（菅原隆雄） 渡部病院事務局長。

○病院事務局長（渡部町子） お答え申し上げます。

補正予算の収益的収支につきましては、補正予算の積算をした時点での数字でございまして、今のところ入院患者数の状況を見ながら対応したいと考えてございます。

2つ目の医療機械購入費の減額でございますが、今回画像ファイリングシステムとマンモグラフィー装置を新しく購入いたしました。その中で、画像ファイリングシステムの購入につきまして、特に医療機械につきましては先生が使用するということもございましてこのメーカーのこの機械と入札を行うこともございましては仕様書を提示いたしまして入札を行った結果、比較的安価で約1,000万円近く減額となった結果になったものでございます。ただし医療機械につきましては経年劣化したものが多く使用してございますので、年度末までに緊急対応しなければならないこともあるものでございますから、今回補正とさせていただいたものでございます。

○委員長（菅原隆雄） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑終結と認めます。

以上で質疑を終了します。

○議第32号の採決

○委員長（菅原隆男） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第32号 平成29年度白鷹町一般会計補正予算（第10号）について採決いたします。

議第32号について原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第33号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第33号 平成29年度白鷹町下水道特別会計補正予算（第3号）について採決いたします。

議第33号について原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第34号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第34号 平成29年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について採決いたします。

議第34号について原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第35号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第35号 平成29年度白鷹町農業集落排水特別会計補正予算（第3号）について採決いたします。

議第35号について原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第36号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第36号 平成29年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第4号）について採決いたします。

議第36号について原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第37号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第37号 平成29年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について採決いたします。

議第37号について原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第38号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第38号 平成29年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第2号）について採決いたします。

議第38号について原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（菅原隆男） 以上で本予算特別委員会に付託された補正予算7件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長（菅原隆男） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉 会

〈午後 2 時 4 8 分〉